

Fujizack ^{フジザック} 通信 17



これは、ふじざくら支援学校から保護者の方に情報提供する不定期通信です。
【第17号】令和3年10月5日 文責：校長

富士山は雪化粧を始めました。ゴツゴツと雄々しく、紫色に輝く夏の富士山も素敵です。しかし、真白い綿帽子を被って裾野を大きく広げた冬の美しい佇まい…これからが楽しみです。

ところで、西湖、精進湖、本栖湖は、地下で繋がっているという話があります。その昔、「せの海」という一つの大きな湖が、富士山噴火による溶岩流で3湖に分断されました。この3湖の湖面が、いつも揃って同じ高さ(海拔)なのは、現在も3湖が地下水脈で繋がっているからだと言うのです。(富士砂防事務所 HP から)

うむ…話の真偽はともかく、何だかワクワクしてきますね。

キャリア教育

“働く”ためには、どのような力が必要なのでしょう。

挨拶の仕方や道具の使い方など、社会に出て仕事をしていくために必要な態度や技術などの職業的スキルを身に付けることはとても大切で、これらは職業教育の内容です。一方、キャリア教育は、働く意味や自分の役割などについて考えながら、社会人・職業人としての意識を育てる重要な内容を含んでいます。

「3人のレンガ職人」という話を耳にしたことがあるでしょうか？ イソップ寓話として取り上げられることが多いのですが、どうやらイソップではなさそうです。ある中学校の校長先生が創作した話という説もあります。この話の改編版を裏面に掲載しますので、まずはそちらをお読みください。

企業の新入社員研修などで、「働くこと」について考えさせるために、この話を取り上げることが多いようです。「今のあなたは、どのレンガ職人ですか？」と、問いかけられたら、私たちはどう答えるのでしょうか？ たぶん3人目のレンガ職人のように、しっかりと目的意識を持ち、自ら意欲的に働く姿勢が求められているのだと思います。しかし、実際には辛く苦しいこともたくさんあります。また、あまり自分に向いていない仕事でも、生活していくために頑張らなければならないという現実もあります。その中で、自分の仕事が誰かの役に立っている、誰かの生活を助けたり豊かにしたりしているという実感をもつことができれば、働くことへの意欲は一段と高められるものと考えます。

例えば、本校には作業学習の製品販売会があります。これは、働いて報酬を得るという体験だけを目的としていません。自分の作った製品を使ってもらったり、喜んでもらったりする体験をするための活動です。自分の労働に対して、他者からたくさんの賞賛を得ることで、働く意欲が高められていくものと考えます。



キャリア教育の基本は、クラスの係活動や家の手伝いにあると思います。自分はクラスの役に立っている、家族から喜んでもらえるという実感が、働く意欲につながっていきます。そして、それを後押しするのが、周りの人から掛けられる「ありがとう」「とっても助かったよ」「嬉しいなあ」などの【魔法の言葉】なのです。

本校の生徒も、3人目のレンガ職人のように前向きな職業観をもって社会に出て行くことを願っています。

文字がびっしりと詰まっている文書を目にすると、読み始める前から憂鬱になりませんか？ 私はそうです。小・中学校の国語のテストの後半には、必ず文章読解のための長文問題がありました。それを目にすると、答えようとする意欲が毎回“ガクン”と落ちました。長文読解には、何とも苦手意識が強いのです…。

フジザック通信をご覧いただきありがとうございます。顔を合わせた時に直接感想をいただいたり、児童生徒の連絡帳に感想を記載していただいたりして、通信の発行を後押ししてくださることに感謝しています。でも、この通信は、文字が多いとか文章が長いとか感じませんか？ …反省しています。

3人のレンガ職人（改編版）

旅人が町外れの一本道を歩いていると、辛そうな顔をしながらレンガを積んでいる職人に会いました。



その職人に「何をしているのですか？」と尋ねると…、

 「暑い日も寒い日も、朝から晩までレンガを積んでいるのさ。もっと楽な仕事をしている奴もいるって言うのに、まったく俺はついてないよ。」と不満そうに答えました。

それからしばらく歩いて行くと、真剣な顔で一生懸命にレンガを積んでいる2人目の職人に会いました。



その職人に「何をしているのですか？」と尋ねると…、

 「レンガ積みだよ。仕事はきつくて大変だけど、自分が積んだ分だけ給料をもらえるんだ。この仕事があるから家族を養っていけるのさ。」と笑顔で答えました。

またしばらく歩いて行くと、生き生きした顔で嬉しそうにレンガを積んでいる3人目の職人に会いました。



その職人に「何をしているのですか？」と尋ねると…、

 「レンガを積んで教会を建てているんだよ。歴史的な偉大な仕事さ。教会を完成させて、町中の人たちが大喜びする顔を早く見たいな。」と目を輝かせて答えました。